

第2回嘉麻市総合計画策定審議会 会議録

- 1 会議等の名称 第2回嘉麻市総合計画策定審議会
- 2 開催日時 令和7年9月25日（木）10:00～
- 3 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 本庁舎5階委員会室2
- 4 公開または非公開の別 公開
- 5 出席者

（1）出席委員

嘉麻市誘致企業振興会	武田 政弘
学識経験者	井原 徹
株式会社福岡銀行	林田 史朗
自治労嘉麻市職員労働組合	後藤 雅子
嘉麻市観光まちづくり協会	中村 瑠梨
九州テレ・コミュニケーションズ	中村 香織
（株式会社ケーブルステーション福岡）	
嘉麻市行政区長連合会	大屋 正義
嘉麻市 PTA 連合会	大里 健
一般公募	志水 真由美
一般公募	皆川 遼

（2）欠席委員

J A ふくおか嘉穂	平畑 英幸
嘉麻・桂川保育協会	溝口 恭子
※順不同、敬称略	

（3）執行機関

総合政策課	課長	小林 純一	課長補佐	吉田 健（欠席）
	係長	藤内 優	主任	香田 潤佑

- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び審議の主な内容

【報告】

1. 総合計画概要について
2. 今後のスケジュール等について
3. 第2次総合計画成果指標について

【議事】

1. 市民意向調査内容について

8 配布資料

- （1）第2回嘉麻市総合計画策定審議会レジュメ
- （2）委員名簿
- （3）総合計画の概要について（資料1）

- (4) 第2次嘉麻市総合計画 後期基本計画【基本施策一覧】(資料2)
- (5) 第2次総合計画策定時のアンケート(資料3-1)
- (6) 第3次総合計画アンケート追加検討中の設問(資料3-2)
- (7) 第3次総合計画アンケート素案(資料3-3)

9 議事の内容

【開会前】

柿森委員に代わり中村委員が新たに就任したため紹介。

【報 告】

1. 総合計画概要について

資料1を使って説明

・総合計画は、市の将来像やまちづくりの方向性を示す最上位の計画です。市民と行政がともにまちづくりに取り組むため、行政運営の長期的な指針として策定されているもの。

嘉麻市においては、

いきたい 住みたい つながりたい

遠賀川源流のまち 嘉麻

～ みんなで創る“誇れるふるさと”“未来のふるさと”～

を目指す将来像(基本構想等の基本的な考え)としている。

・嘉麻市総合計画策定支援業務委託契約事業者である株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所を委員へ紹介

【主な質疑及び意見等】

なし

2. 今後のスケジュール等について

資料1を使って説明

- ・1回目の審議会から大きく変更はない。策定支援の業者も決定し、概ね順調に進んでいる。令和7年度は主に市民意向調査と庁内においては各課の課題抽出やヒアリング等を行っていく。市民意向調査については実施から分析まで行っていく予定。
- ・今年度については、審議会は開催しない予定であるが、2月にまち・ひと・しごと創生推進会議を開催する予定にしており、その時間で市民意向調査の報告を行いたいと考えている。
- ・令和8年度は定期的に審議会を開催する予定。また、市民の意見を聞くワークショップやパブリックコメント等を行い、3月をもって、計画策定する予定。

【主な質疑及び意見等】

(質問) 総合計画の場合に市民の意識や行政の考え方などを分析して、最終的に決定していく形をとっていく理解で良いか。

⇒その理解で問題ない。

(質問) 令和までの過去数十年の経過を見ると経済成長した時代から、高齢化の時代になり、

どんどん人口が減っていつている。今までのそのアンケートのやり方や意識も違っており、そういった部分を考慮した上で、7年度いっぱいかけてアンケートをしっかりやろうといった理解で良いか。

⇒その理解で問題ない。11月中を目途に発送を行い、1ヵ月程度をかけて回収期間とし、その後、分析を行っていく。

今回の第3次嘉麻市総合計画は嘉麻市になって3回目の総合計画になり、市民意向調査においても、基本的には前回のアンケートの情報とどのように変化していったかも調査する必要があるため、以前の市民意向調査を踏襲しつつ、デジタルやコミュニティなどの問題を付加していく構成になると考えている。また、回答方法については、昔は郵送のみであったが、デジタル回答を準備するといったところも想定している。

(質問) 市民意向調査について3,000人に送付することになっているが、その人たちの意見だけになってしまうのか、また、年齢制限はあるか。

⇒18歳以上の市民3,000名を対象とする予定。

(質問) 高校生以下の若い人たちの意見は聞かないということか。

⇒前回調査時にも同様の人数・年齢(成人年齢が18歳になったことに伴い18歳以上に行っている)で調査を行っている。統計的にはもっと少なくとも問題とを考えているが、総合計画を策定していることを市民の方に知ってもらいたい思いもあり、3,000人に送付している。また、第2次の時は、市民意向調査は18歳以上に行っているが、18歳以下の方も参加できるワークショップを開催し、意見を徴収した。第3次についても、同様の形でと考えているし、策定支援業者からも若い方からの意見徴収について提案をもらっているため、幅広く意見徴収ができると考えている。

(質問) 対象の3,000人の年齢構成はどのようなになっているか。

⇒最終的には意見もらった中で決定する形になるが、第1次・第2次は基本的に無作為抽出法という形で、例えば18歳以上から最高齢までの中から無作為に抽出をしてというやり方で実施し、年代ごとにこれぐらい取ろうという作為抽出ではない。そのため、今の年齢階層化で行うと、65歳以上が41%くらいになっているので、その世代の方がちょっと多くなるのが、自然な形と考えている。

作為抽出で年代と地域を選んでくってというやり方もあるが、嘉麻市では無作為抽出でのアンケートを選んでも。

(質問) 市報に周知を行っていくのか。

⇒広報の10月、11月号に市民意向調査の件と総合計画策定予定の予定にしているお知らせは掲載予定としている。今後は進捗や報告事項等あれば、広報等には掲載していく予定にしている。

3. 第2次総合計画成果指標について

資料2を使って説明

- ・総合計画は、まず基本方針があって、その下に、どういう事業をやっていくのかを示す基本施策があり、基本施策は基本方針を具体化した分野別の取り組みを指す。第1章であれ

ば、主に農業・産業振興関係。第2章であれば、主に健康・福祉・子育て関係。第3章であれば、主に生涯学習・教育関係。第4章であれば、主に土木・防災関係。第5章であれば、主に男女共同・財政関係となっており、基本施策がそれぞれ具体化し記載したもの。指標の目標が施策をさらに事業ベースに落とし込みんだもので、毎年進捗管理を行っている市にとって効果があったものかについては、最終的な目標値は第2次計画終了の令和8年になっているためそこでの判断にはなるが、進捗管理をしながら、経過を把握している。第3次嘉麻市総合計画に関しても基本的には同様の形を取っていく予定としている。

【主な質疑及び意見等】

なし

【議 事】

1. 市民意向調査内容について

資料3-1、3-2、3-3を使って説明

- ・資料3-3については、前回のアンケートと追加依頼のあった設問と皆様から意見を踏まえて、素案になる。意見の中にあった、市民に分かりにくい表現としていくつかご指摘いただいていた部分については、修正を行っているが、庁内会議である嘉麻市総合計画策定委員会においても、10年前には使っていたが、現代では使っていない表現のご指摘も受けているため、最終的には表現も含め、市民の方々が分かりやすいものに変更していく予定。
- ・人口減少対策について意見を聞いた方が良いといったものに関しては、住みやすさについて聞いている部分と関連するところもあるため、新たに設問を追加するのではなく、全体のボリュームもあるので、関連するところして追加での設問は行っていない。
- ・嘉麻市の取り組みの満足度と重要度についての設問について、2ページにわたっており、選択肢が多いとの意見があったが、この部分については、10年前と現時点と市民のニーズ等の変化を把握する設問になっているため、多少の表現は変更す基本的にはそのままにする予定です。また、この設問については、意見としてあった、限りある資源の中での優先順位を聞いた方が良いとの意見に関連すると考えている。
- ・情報通信環境について、前回調査時は、自宅にパソコンでインターネットを利用してるかという設問であったが、10年前は調べる必要があったが、現在ではスマートフォンであったり、ネットを使うのが、基本的に当たり前になっているので、10年前と比べる必要がないと考えており、デジタル戦略課より、追加依頼のあった設問に差し替えている。
- ・委員の意見も反映しながら、アンケート内容を進めており、今回の内容が最大内容になっている。最終的にはより精査し、少しページ数を落とした形での完成を考えている。最終的には、市で作った内容をもとに委託業者が整え、審議会・庁内と確認を行い、市長決裁後、実施する予定。

【主な質疑及び意見等】

(意見) 回答時間がおおよそどれくらいかかるのか記載した方が良い。

(意見) 人口減少のワードがアンケートに入っていないため、人口減少といったワードや設問をいれることで、他の設問とのクロス集計でも人口減少のことがより明確に意見

や問題を徴収できるようになる。

(意見) 住みやすさについて聞いている項目について、現在の選択肢だと深掘りができないので、もう少し深掘りができるような設問にした方が良い。

(意見) 設問が長いものは見開きにするなど見やすいように工夫した方が良い。

ワークショップという言葉が難しい言葉に感じるため、表現や注釈を入れるなど考慮した方が良い。

(意見) 設問によっては同じような内容を聞いている設問や、何を聞いているのか市民に伝わりにくい部分もあるため、その部分は修正した方が良い。

(意見) 地域コミュニティというのがどの程度のコミュニティを指しているものなのかが分からないと受け取り側で判断したコミュニティでの回答になり、意図している結果が得られない可能性があり、表現等含めて、修正した方が良い。

(意見) 財政面の設問に関しては、10年前より、状況悪化しているため、厳しい状況を聞いたりと、知ってもらうという意味で必要なことであると思う。

(意見) 考え方や行動についての設問で重複して聞いている設問がある。

(意見) 考え方や行動についての設問で意見を聞くことと行動したことと混在しているため、分けて記載するなどした方が良い。

(意見) 考え方や行動についての設問でホームページだけではなく、x や YouTube などについても閲覧したことがあるか聞いた方が良い。

(意見) 前回アンケートの結果やそれに対して対策はどうなったか知りたい。

(意見) 無作為抽出ではなく、ある程度、各世代で一定の割合ごとに調査した方が良い。

(質問) 高校生や大学生がどうしても外に出てしまっており、地元企業に就職しない現状があり、アンケートの中にその部分を少しでも解決するような設問追加できないか。

⇒嘉麻市の大きな課題の中には、交通買い物、雇用、雇用の場という大きな課題として以前のアンケートからも顕著に現れていると考えおり、そういった中で働く場の創出やUターンとかIターン含めて、卒業学生の働く場所の創出など、そういった観点も重要かと考えている。その部分について設問内で工夫して考えたい。

また、昨年度、人口減少に特化した、問題を解決するための計画である総合戦略を策定しておりおまして、その中で、16歳から18歳の方々に独自にとったアンケートがある。それ以外の18歳以上の方にとったアンケートもあり、そのようなデータも含め、総合計画は分析しながら、計画をまとめていきたいと考えている。

(質問) 市民活動についての設問は、行政区についてだったり市民活動だったり、項目分ける等した方が答える側が何について聞かれているか理解できると考えてられるが。

⇒他課の方から、行政区活動また自治会活動と、自治会離れ問題等を追加してほしいとの要望があり、一旦はそのまま素案の中に記載した形をとっている。指摘の部分について修正していく。

(質問) 協働のまちづくりの設問に記載があるが、分野を決めてワークショップ等を開催しているか。

⇒それぞれの課でワークショップなのか、意見交換会なのか分からないがそれぞれの分野においては、政策の決定において、ワークショップを選んだり、意見交換会をしたという部署はある。ただ、一般市民が参加するまちづくりの部分となるとそういった要請が今まであまりなかったと認識しており、開催した例としては第2次総合計画策定時に総合計画のあり方と、各地域の地域の利活用について、20ヶ所程度、実施した。また、嘉麻市には自治基本条例というものがあり、政策の決定などをする時にはワークショップやアンケート、説明会など、住民の皆さんにお出しさしていただいて、意見等を一緒に加えていくことをやってきており、ワークショップに関するについて設問として記載していると考えている。

(質問) 財政面の設問については必要だと意見があるが。

⇒財政状況の危機的な状況というのも把握できているし、消滅可能性自治体といわれている。それを解消するために、しっかり計画を作らないといけない。今回、見え消ししている部分については、例えば、現在の新庁舎と、各庁舎のすみ分けでどうするかといった10年前に使用したアンケートを消しているという状況なので、現状として、足すべき質問については、市の中で担当含め、協議したいと考えている。

(質問) 架空請求や悪徳商法などの消費トラブルに巻き込まれた(巻き込まれそうになった)ことがある項目を消している理由は。

⇒あまり計画策定には必要ではないと考え消している(結果をもって今後の啓発等に生かせるとの意見あり)

(質問) アンケートについて説明を受けたが、アンケート結果等をもって、本日、報告があった個別事業の内容に展開されていることで良いか。

⇒本日、説明した資料は第2次総合計画のものになるが、今後はアンケート結果等を含め同様のものを作っていくことになる。

【その他】

- ・現在、パブリックコメントを実施している過疎計画について説明
- ・次回の日程について

今年度においては、審議会を開催しない予定であるが、来年2月の第2回まちひとしごと創生推進会議にてアンケート結果等を報告予定。